おかしおかし、あるとおもって、ひんぱつだけど ここのやさしい おじいさんと おばあさんが いました。
ある年の おおみそかの ことです。
おじいさんと おばあさんは 2人で かさを つくりました。
それを 町へ もっていって うり、お正月の おもちを かうつもりです。
「かさは 5つも あるから、もちくらい かえるだろう」
「おねがいしますね。それから、こんやは ゆきに なりますから、気をつけて 下さいよ」
おじいさんは 5つの かさを もって 出かけました。

2

いえを 出て まもなく、ゆきが ふってきました。
ゆきは だんだん はげしくなったので、おじいさんは せっせと みちを いそぎました。
村はずれまで くると、おじぞうさまが 6つ ならんで 立って いました。
おじぞうさまの あたまにも、かたにも、ゆきが つもっています。
これを 見た おじいさんは、そのまま とおりすぎることが できませんでした。
「おじぞうさま。ゆきが ふって さむかろうな。せめて、このかさを かぶってください」

3

おじいさんは おじぞうさまに、つるつるの かさを かぶせてやりました。
でも、おじぞうさまは 6つなのに かさは 5つしか ありません。
そこで おじいさんは、じぶんの かさを ぬいで、さいごの おじぞうさまに かぶせてやりました。
いえへ かえると、おばあさんが ビックリして いいました。
「まあまあ、ずいぶん 早かったですねぇ。それに、おじいさんの かさは どうしましたっ？」
おじいさんは、おじぞうさまの ことを はなしてやりました。

4

「まあまあ、それは よいことを しましたねぇ。おもちなんて なくても いいですよ」
おばあさんは ニコニコ いいました。
むかし むかし あるところに、やさしい おじいさんと おばあさんが すんで いました。

366日の昔話
にち　むかしばなし
むすめ　どう　わ　しゅう
福娘童話集
きょうの日本昔話より
かさじぞう

かさじぞう　QRコード

おなまえ

福娘童話集　豆本シリーズ 7

福娘童話集　豆本シリーズ

・もちおこう　・つるのおんがえし　・おやゆびひめ
・ハイケン　・赤ずきんちゃん　・はじくいずこのネ
・ブナクチュ　・シンデレラ　・にんぎょひめ
・花咲じいさん　・あかいはるぐつ　・花のあんじいさん
・金太郎　・シンデレラ　・ほだかの王さま
・浦島太郎　・ひらかまひめ　・いっすんぼうしとうちでのこづち
・ねずみのよめいり　・マッチうりしょうじょ　・へンゼルとグレーテル
・かちかちやま　・メロンとオニのコ　・アリバンとく40人の盗賊
・いっすんぼうし　・アリとキリギリス　・ウサギとカメ
・しびきじいさん　・眠れる森の美女　・北風と太陽

福娘の携帯向けサイト

・福娘童話集
（四季と日本の昔話）
・366日への旅
（誕生日・誕生花・誕生日）
・こどもの携帯相談所
（こどもの携帯電話・掲示板など）
・世界60秒めぐり
（世界の国々の空知識）

QRコード

http://hukumusume.com

5

ふと、おじいさんは、おじぞうさまの ことを はなしてやりました。
「まあまあ、それは よいことを しましたねぇ。おもちなんて なくても いいですよ」
おばあさんは ニコニコ いいました。
その ばんの ことです。
ふくろを かついだ 大どろぼうが、ぞろぞろと やって きました。
どろぼうは、おじいさんの いえの 前で 立ちどまると、
「じいさんや、ばあさんや。ねむって いるかい？　ねむって いるなら、おどろかして やろう」
「ワッハッハッハ」
と、大きな 声で わらいました。

6

これを 聞いた おじいさんと おばあさんは、ふるえあがりました。
「ああ、どろぼうだ。どろぼうが やって きた。どうか、おねがいです。かえって ください」
と、ふるえながら いのりました。
どろぼうは、ますます 大きな 声で わらいました。
「ワッハッハッハ。ばかな じじいと ばばあだ。おれたちは、おまえたちの ねがいを きいて やって きたのだ。かえって やるから、ありがたく 思え」
どろぼうは、ふくろを かついだまま、ぞろぞろと かえって いきました。
あとに のこった おじいさんと おばあさんは、ほっと むねを なでおろしました。
「ああ、よかった。どろぼうが かえって いった。ありがたい ことだ。ありがたい ことだ」
「ほんに よかった。ほんに よかった。ありがたい ことだ。ありがたい ことだ」
と、いつまでも いつまでも、くりかえして いました。
その ばんの ことです。
おじいさんと おばあさんは、ぐっすりと ねむりました。
ねむって いる おじいさんと おばあさんの ゆめの 中に、ぞろぞろと 大ぜいの どろぼうが やって きました。
どろぼうは、ふくろを かついだまま、ぞろぞろと かえって いきました。
あとに のこった おじいさんと おばあさんは、ほっと むねを なでおろしました。
「ああ、よかった。どろぼうが かえって いった。ありがたい ことだ。ありがたい ことだ」
「ほんに よかった。ほんに よかった。ありがたい ことだ。ありがたい ことだ」
と、いつまでも いつまでも、くりかえして いました。
その ばんの ことです。
おじいさんと おばあさんは、ぐっすりと ねむりました。
ねむって いる おじいさんと おばあさんの ゆめの 中に、ぞろぞろと 大ぜいの どろぼうが やって きました。